

部会だより

《源泉研究部会 第289回 研修会》

◆平成19年度年末調整について◆

11月8日、法人会館に於いて「第289回研修会」が開催されました。当日は、会場狭し…と大変多くの方が参加されました。

冒頭、西條部会長、樋口副署長、柳澤第2 統括官より挨拶がありました。特に、平成20年1月から源泉所得税のみを利用する場合は、e-Taxの利用開始時の電子証明書の事前登録が不要となる予定だそうで、今後ますますe-Taxの利用者が増えていく事を期待したい旨話されました。

年末調整については、宮崎上席が担当され、CD-ROMの上映も含めて約1時間半に亘り研修して頂きました。

特に、平成19年度の税制改正等により次のような改正が行われました。

1. 生命保険料控除対象となる生命保険契約等の範囲が拡大されました。



今年には多くの変更があり、皆さん真剣です

2. 給与等の支払を受ける人が、その支払を行う者に提出することとされている

日本閣観光(株) 岡野 政義

源泉徴収関係書類について、一定の要件の下で、書面による提出に代えて電磁的方法による提供を行うことができることとされました。



3. 損害保険料控除が改組され、損害保険料契約等に係る地震損害部分の保険料等の合計額(最高5万円)を総所得金額等から控除する地震保険料控除とされています。

4. 定率減税が廃止されています。

又、平成20年1月1日以降注意すべき点として住宅借入等特別控除について特例が設けられました。

今回は、特に注意すべき事として、給与支払報告書の書き方についても担当者より説明がありました。

毎年の事ではありますが、社員の皆様にも充分理解して頂き、誤りのない年末調整の事務にあたっただけだと思います。

*研修会終了後、「役員会」を行い、今後の行事開催について話し合いました。

《女性部会 第112回研修会》

◆フェルメールとオランダ風俗画展(鑑賞会)◆

秋も深い11月7日、お天気にも恵まれ、山岡署長、樋口副署長、署員の皆様様の暖かいお見送りを受けて、参加者26名と事務局の方を乗せたバスは、六本木の国立新美術館へ向かいました。

この美術館は、黒川紀章の設計によるもので、波打つガラスの集合体で大きな鳥が翼を広げているように見えます。イヤホンを借り、大勢の人々と進んで行くと、17世紀のオランダの絵画が並んでいます。その一つ一つの絵には、目に見える事物にも隠された寓意がある事が解説によって分かります。中程まで進むと、お目当の『牛乳を注ぐ女』です。



六本木で、ヨーロッパを味わっています

(有)城西 白根日出子

柔かい光を受け牛乳を注ぐ事に集中している使用人。がっちりした体格に働き者らしい太い腕が白く光っています。フェルメールは、この絵の後に描かれた『真珠の耳飾りの女』が有名ですが、この素朴な若い女と周りに配された品々の質感の描き分けが素晴らしく感動しました。

他にも素晴らしい絵や17世紀の楽器、食器等堪能して三々五々自由解散となりました。

*10月26日、役員会を行いました。来年4月の『女性フォーラム東京大会』に向けて、環境問題に取り組む事になり、アンケートの趣旨、次回の研修会等について話し合いました。



東京大会に向け面密な打合せ